

高速イレースツール 〈DiskErase〉

# 取扱説明書



1. 概要.....	3
2. 対応OS・対応機種 .....	4
3. インストール方法.....	5
4. アクティベーションを行う.....	8
5. 使用方法.....	13

- 本製品に接続した1～2台のHDD/SSDのデータ消去が行えます。
- さまざまな消去規格に基づいた、高度なデータ消去が可能です。
- 2台接続時には、2台のHDDを同時に消去するため高速な消去が可能となります。

## 【対応OS】

### ■Windows

- Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista

※インストールおよびソフトウェア実行の際には、管理者権限が必要となります。

※上記以外のOSでは動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態（ServicePack含む）にしてお使いください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

## 【対応機種】

### ■Windows

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機  
（USB3.0モード動作時）
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機  
（USB2.0モード動作時）
- CPUクロック 2GHz、メインメモリ2GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※本ソフトウェアはCROS2U3RVがUSB接続されていないと動作しません。

※本ソフトウェアをインストールする際は、光学ドライブおよびインターネット接続環境が必要になります。

※すべての環境での正常動作を保証するものではありません。

#### ●動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| ・intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | ・Frescologic FL1100 USB3.0 ホストコントローラ        |
| ・intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | ・RENESAS(NEC) μPD720200/202 USB3.0ホストコントローラ |
| ・Asmedia Asm1042 USB3.0ホストコントローラ  | ・VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ                  |
| ・ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ      |   |

※ USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。

従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0（480Mbps）になります。

※ 各ホストコントローラのドライバは最新のものをお使いください。

- ❶ CROS2U3RV付属のCD-ROMをPCにセットして開きます。
- ❷ Software>DiskErase>setup.exeをダブルクリックします。



- ❸ お使いの環境により、ユーザーアカウント制御の画面が出る場合がありますので、 をクリックしてください。



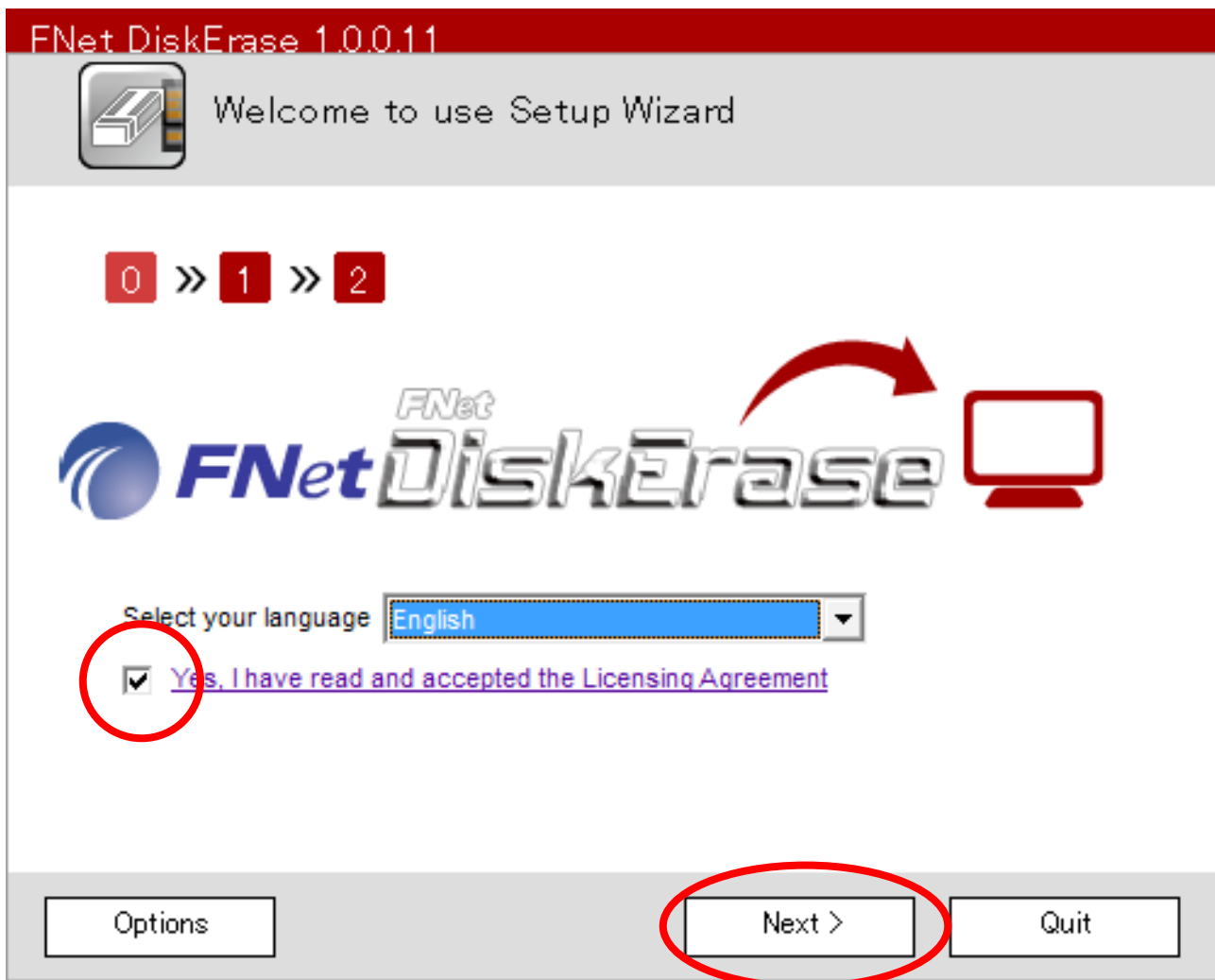
④ インストール画面が表示されます。

「[Yes, I have read and accepted the Licensing Agreement](#)」

の部分をクリックし、使用許諾契約の内容を確認します。  
確認したら、

「[Yes, I have read and accepted the Licensing Agreement](#)」

の左側にチェックを入れ、 をクリックします。



※言語は英語・中国語のみとなります。

日本語は選択できませんので、あらかじめご了承ください。



⑤ インストールが進行し、完了します。

をクリックすると、インストールウィザードが終了します。



本製品の初回起動時、アクティベーション(認証作業)が必要となります。  
アクティベーションを行うことにより、初めてソフトが使用可能となります。

※アクティベーションは初回起動時のみ必要な作業となります。

いちどアクティベーションを行えば、次回起動時から本作業は必要ありません。

## 〈アクティベーションに必要なもの〉

- CROS2U3RV本体

※アクティベーションを行う前に、PCと接続されている必要があります(HDD/SSDの接続は必要ありません)。

- CROS2U3RV本体裏側に貼付のシリアルコード

- 使用するPCにインターネット接続環境が必要

※アクティベーションにはインターネットを経由しての通信が必須となります。

インターネット接続環境がないPCでのアクティベーションは行えません。

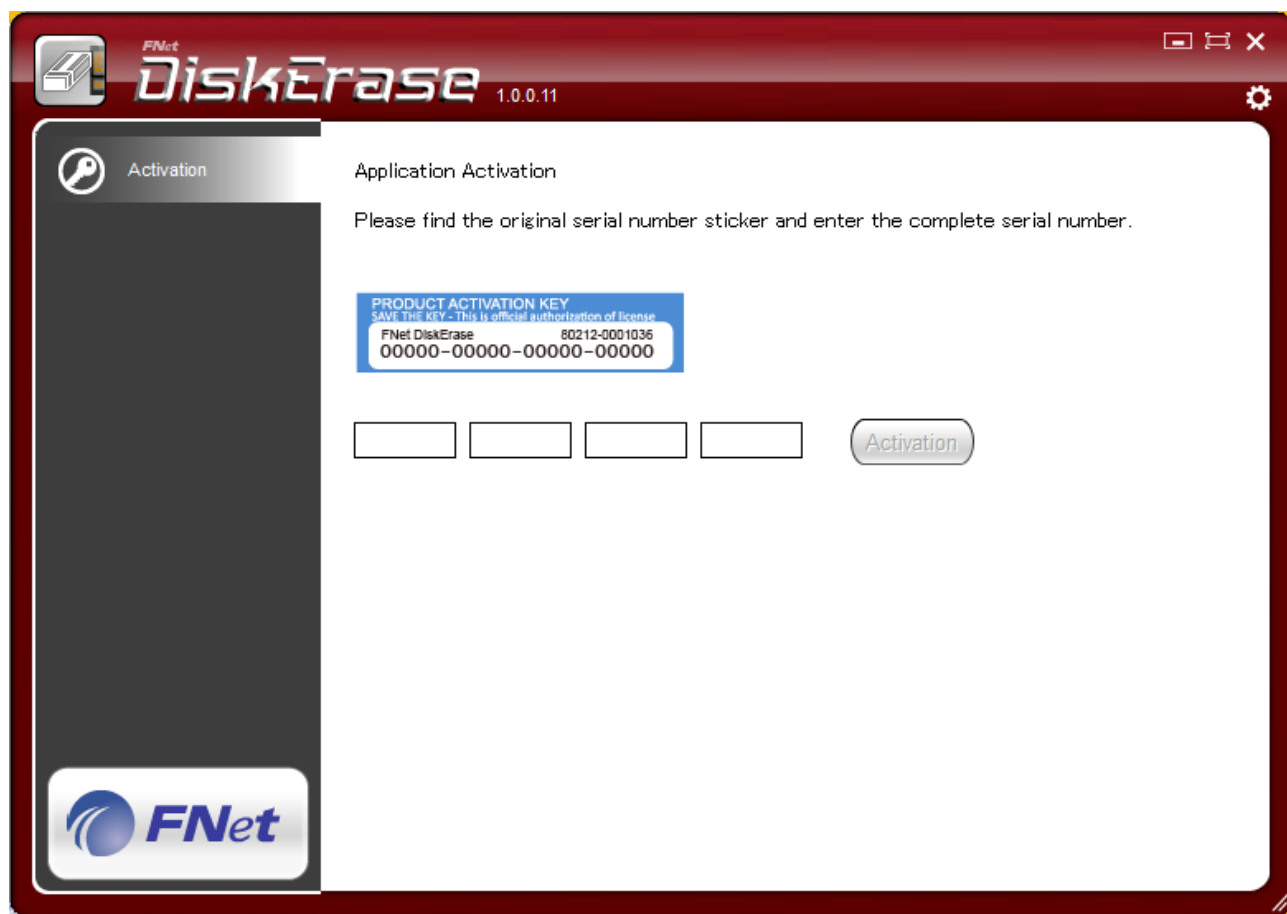


## 〈アクティベーション方法〉

❶ インストールした「DiskErase」アイコンをダブルクリックし、起動します。



❷ 起動が完了すると、次の画面が表示されます。

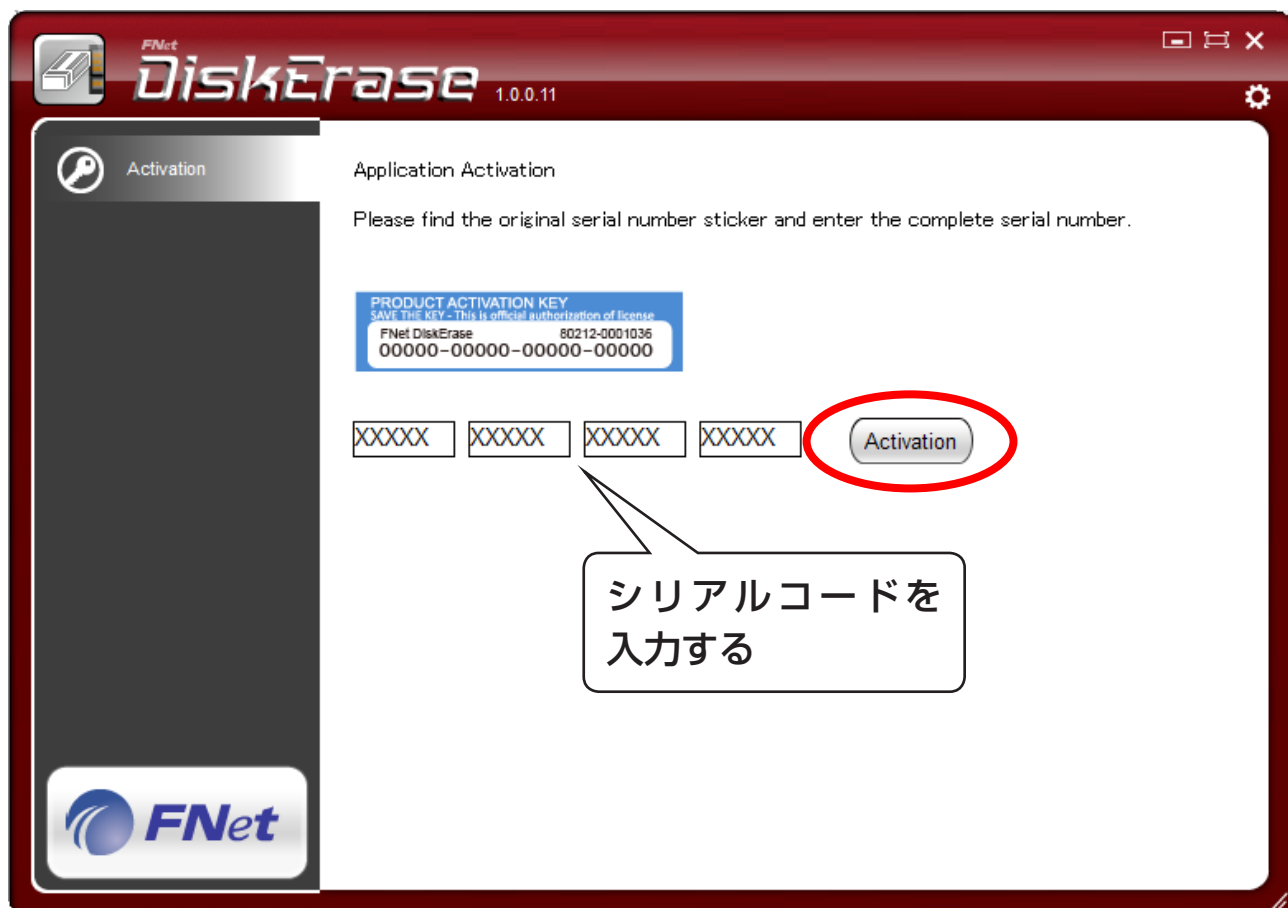


- ③ 本体底面に貼付されているシリアルコードを入力し、 **Activation** をクリックします。

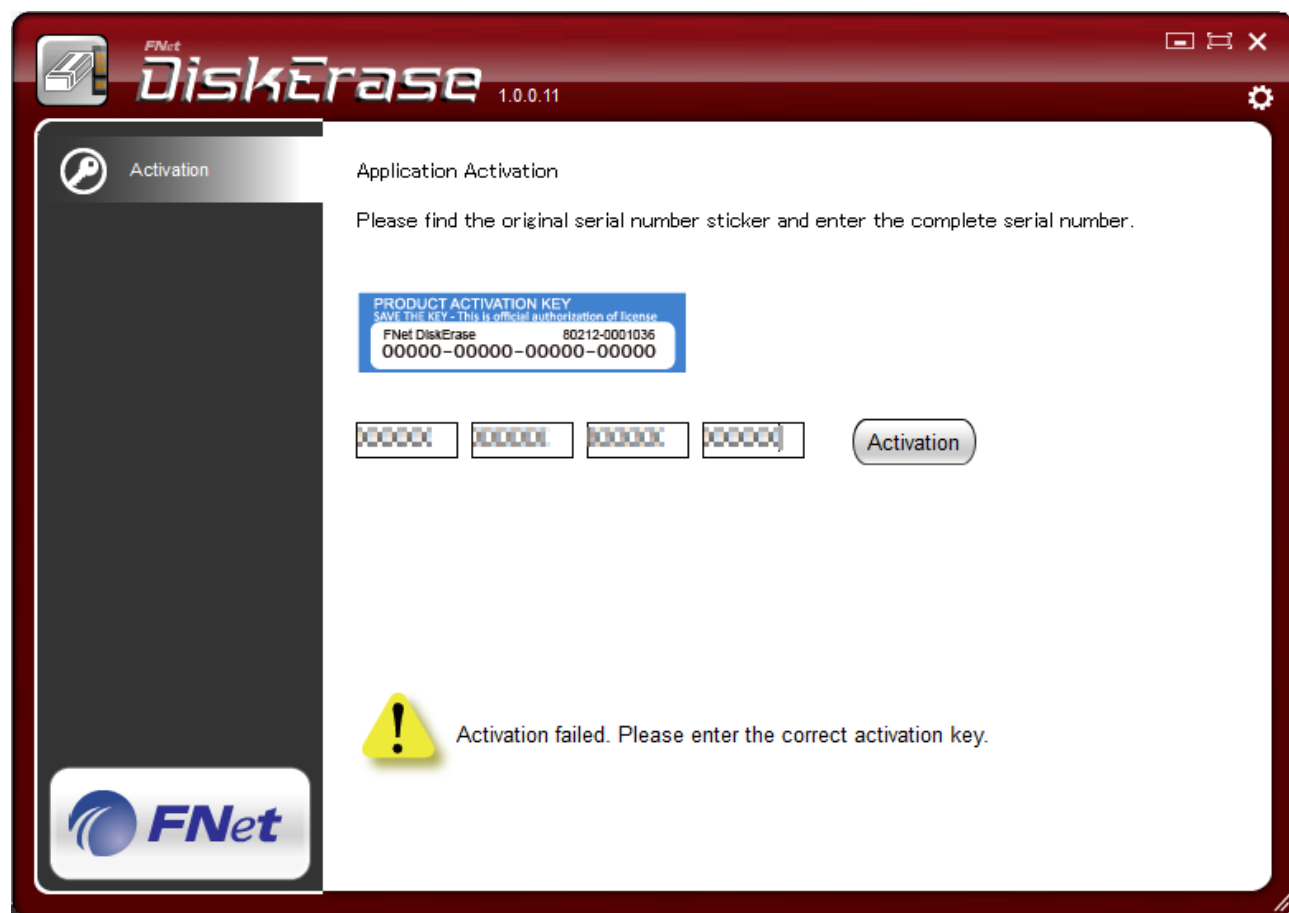
## ■ご注意！

HDDが接続されている状態でCROS2U3RVの底面を見ると、HDDが脱落する可能性があります、危険です。

あらかじめシリアルコードをメモに取っておくか、HDDを接続していない状態でPCに接続してアクティベーションを行ってください。



◆アクティベーションに失敗した場合は次の画面が表示されます。



次のことを確認し、再度入力を行ってください。

- インターネット環境に接続可能なPCか。

※ウイルスセキュリティソフト等のファイヤーウォールを使用している場合、アクティベーションに失敗する場合があります。

一時的にファイヤーウォールをオフにし、アクティベーション完了後に再度ファイヤーウォールをオンにしてください。

- シリアルコードの「0」（数字のゼロ）と「O」（アルファベット大文字のオー）、「1」（数字のいち）と「I」（アルファベット大文字のアイ）を間違っていないか。

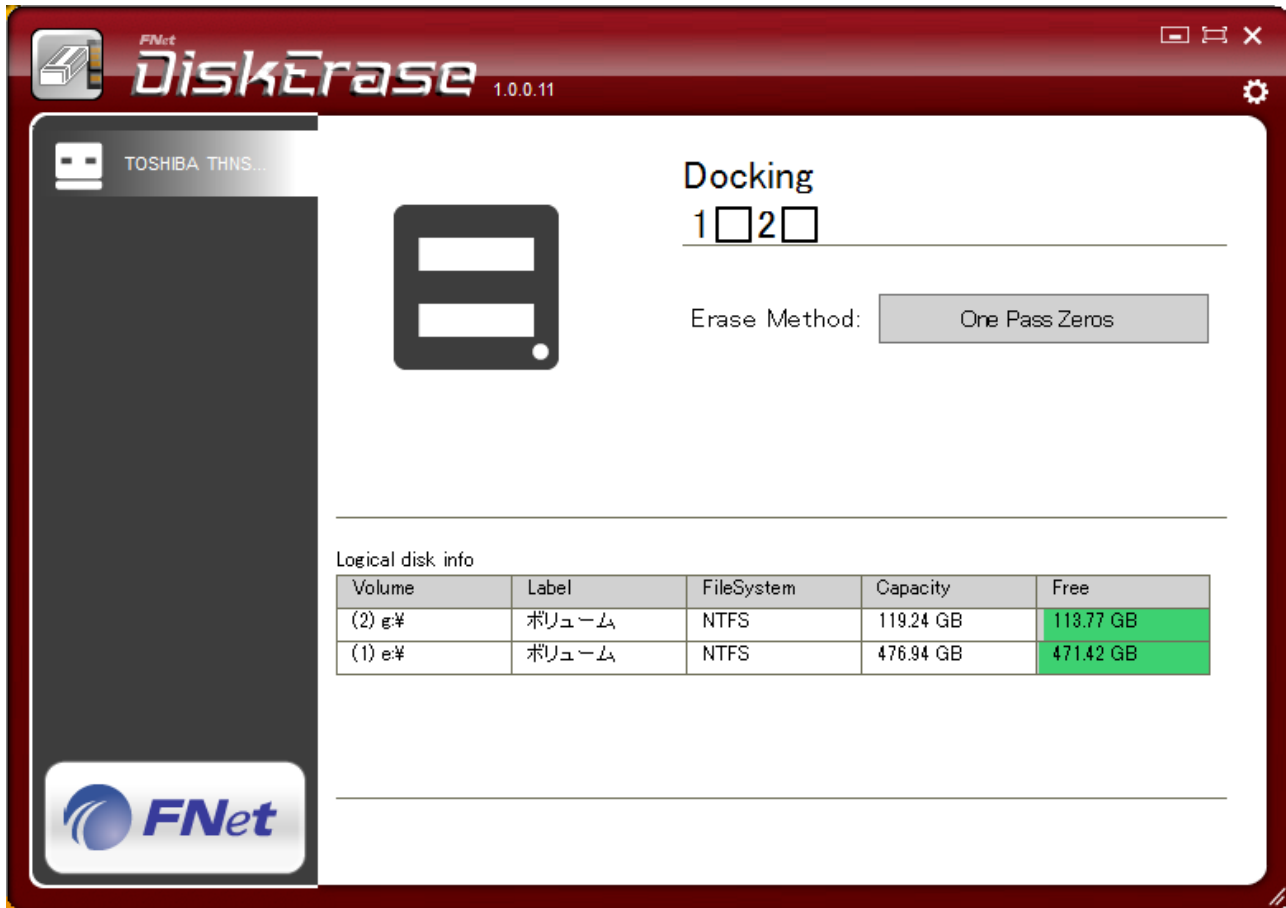
※シリアルコード入力の際は、必ず**半角英数字**で入力してください。

※数字の0（ゼロ）には**斜線**が入っています。

※シリアルコードに**アルファベットの小文字**は使用しません。



- ④ アクティベーションに成功すると、次の画面が表示され、ソフトが使用可能になります。

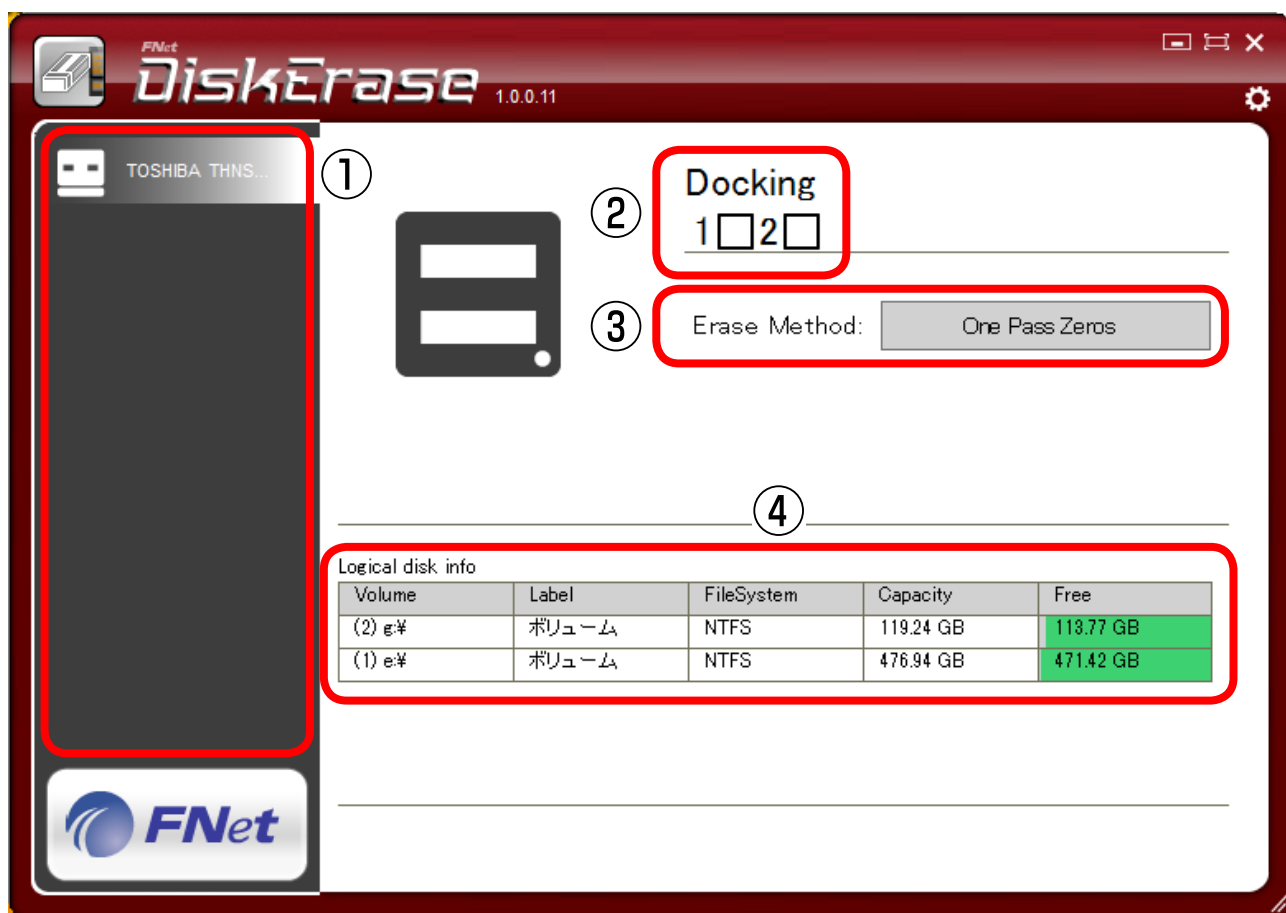


## ■ご注意！

本ソフトウェアを使用してディスクの消去を行う前に、必ず消去していいHDD/SSDかをご確認ください。

消去を実行すると、中断しても中身のデータはすべて消去されます。

①DiskEraseを起動すると、次の画面が表示されます。（画面は一例です）



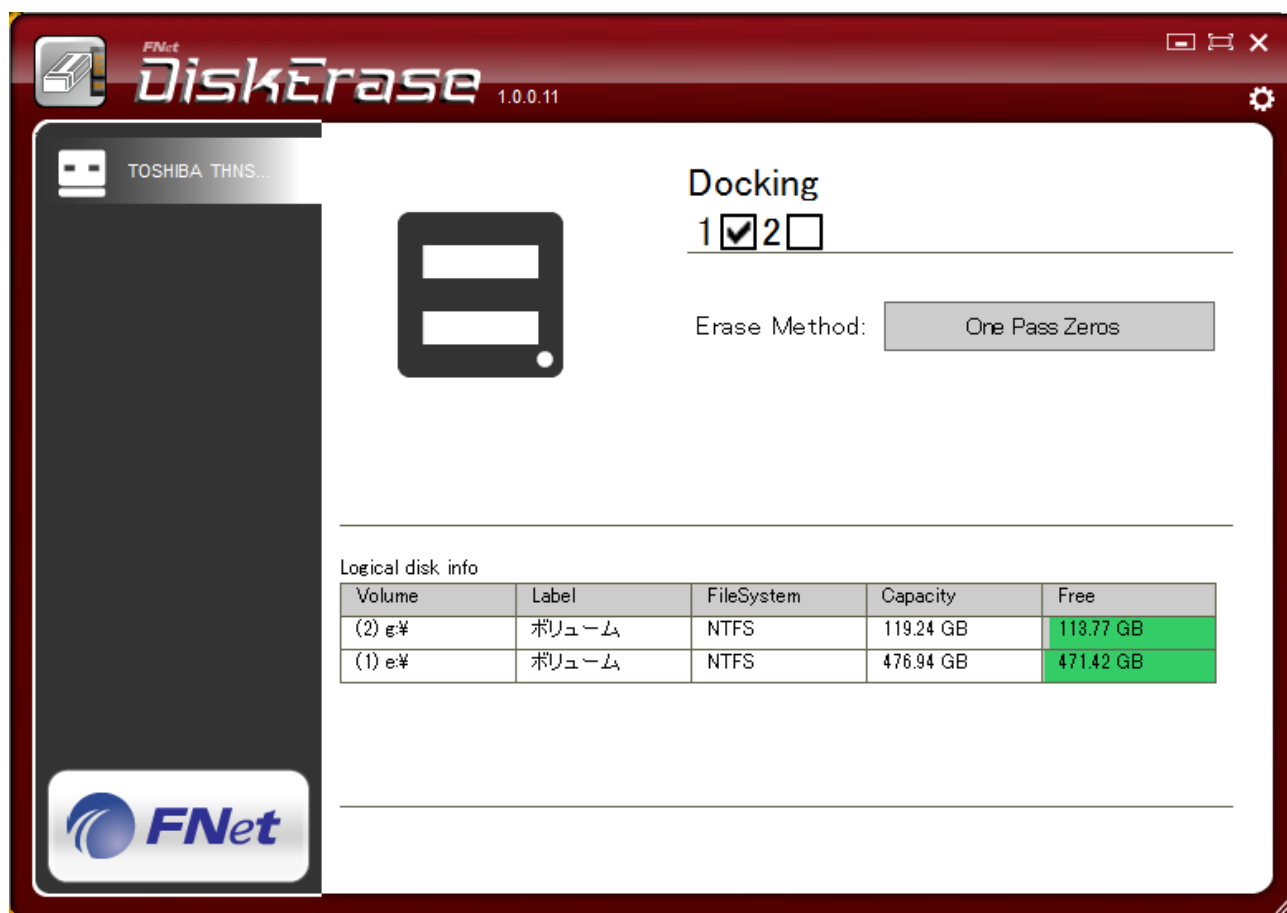
- ①接続したHDD/SSDの型番
- ②消去するドライブの選択チェックボックス  
1 =HDD 1 2 =HDD 2
- ③消去方法を選択するプルダウンメニュー
- ④接続したHDD/SSDの情報

②本ソフトは2台までのHDD/SSDを同時に消去できます。

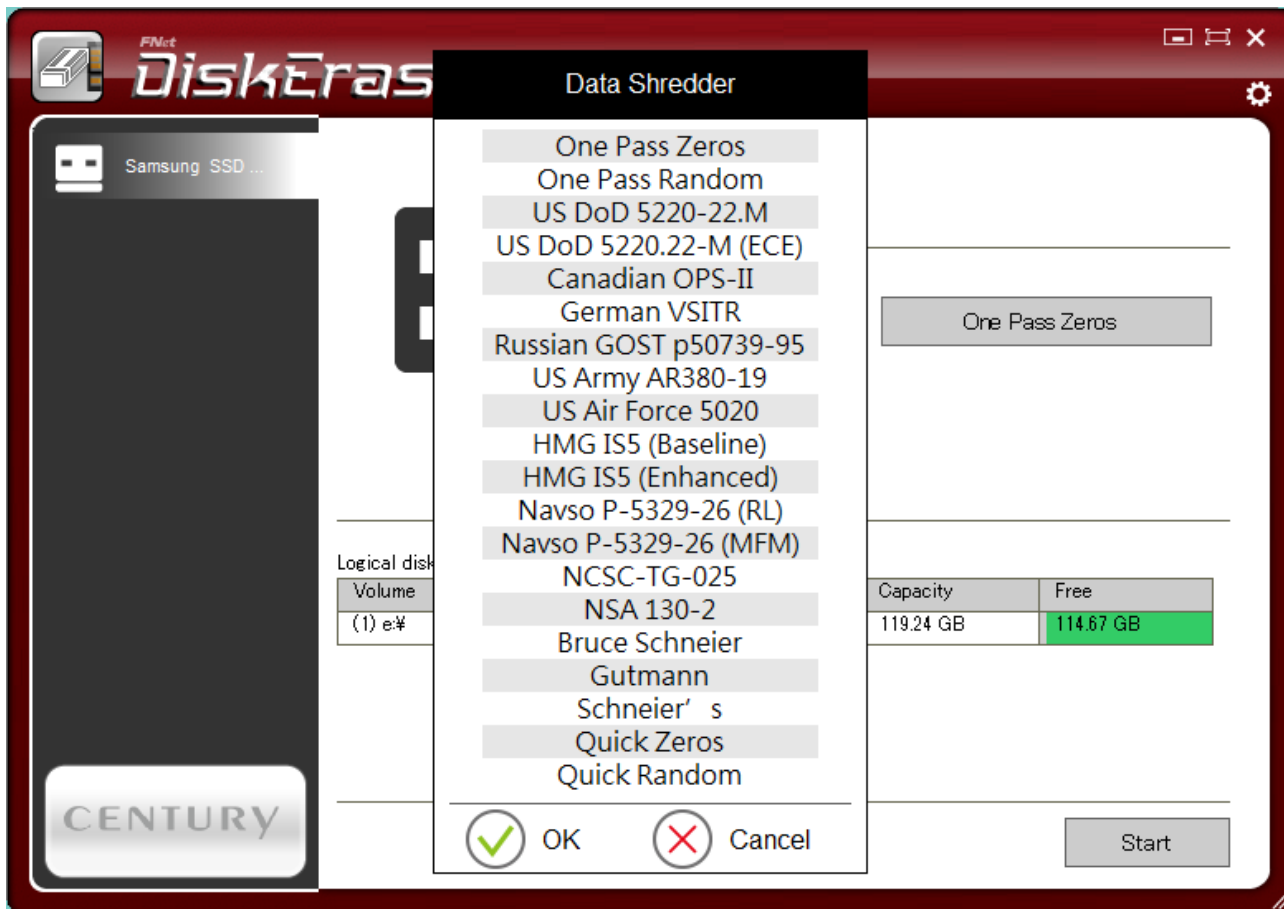
HDD 1に接続されているHDD/SSDを消去したい場合は1を、HDD 2に接続されているHDD/SSDを消去したい場合は2にチェックを付けてください。

両方とも消去したい場合は、1、2のどちらにもチェックを付けてください。

※消去方法は2台同じ消去方法となります。個別に選択はできません。



③EraseMethodのプルダウンメニューから消去方法を選択します。



## ■各消去方法の説明

### 1. One Pass Zeros（1回消去）

全セクタに0を1回書き込みます。ベリファイは行いません。

### 2. One Pass Random（1回消去）

全セクタにランダムな数値を1回書き込みます。ベリファイは行いません。

### 3. US DoD 5220-22.M（3回消去）

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0xFFを1回、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 4. US DoD 5220.22-M(ECE)（7回消去）

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0xFF、ランダムな数値、0x96、0x00、0xFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 5. Canadian OPS-II（7回消去）

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0xFF、0x00、0xFF、0x00、0xFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 6. German VSITR（7回消去）

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0xFF、0x00、0xFF、0x00、0xFF、0xAA、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 7. Russian GOST p50739-95（2回消去）

全セクタに0x00を1回書き込み、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 8. US Army AR380-19（3回消去）

全セクタに0xFFを1回書き込み、その後、0x00、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 9. US Air Force 5020

全セクタにランダムな数値を1回書き込み、その後、0x00、0xFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

### 10. HMG IS5(Baseline)（1回消去）

全セクタに0を1回書き込みます。ベリファイは行いません。

### 11. HMG IS5(Enhanced)（3回消去）

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0xFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。





**12. Navso P-5329-26(RL) (3回消去)**

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0x27FFFFFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

**13. Navso P-5329-26(MFM) (3回消去)**

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0x7FFFFFFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

**14. NCSC-TG-025 (3回消去)**

全セクタに0x00を1回書き込み、その後、0xFF、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

**15. NSA 130-2 (2回消去)**

全セクタにランダムな数値を1回書き込み、最後にベリファイを行いながらランダムな数値を書き込みます。

**16. Bruce Schneier (7回消去)**

全セクタに0xFFを1回書き込み、その後、0x00を1回、ランダムな数値を5回上書きします。

ランダムな数値の書き込み後、ベリファイを行います。

**17. Gutmann (35回消去)**

全セクタにランダムな数値を4回、特定の数値を27回、ランダムな数値を4回上書きします。

ランダムな数値の書き込み後、ベリファイを行います。

※非常に強力な消去方法ですが、完了までに相当な時間がかかります

**18. Schneier's 7 pass (7回消去)**

全セクタに0xFFを1回書き込み、その後0x00を1回、ランダムな数値を5回上書きします。

ランダムな数値の書き込み後、ベリファイを行います。

**19. Quick Zeros (クイック消去)**

先頭セクタに0x00を書き込みます。ベリファイは行いません。

※先頭セクタ以外は消去を行わないためデータが残ります。

**20. Quick Random**

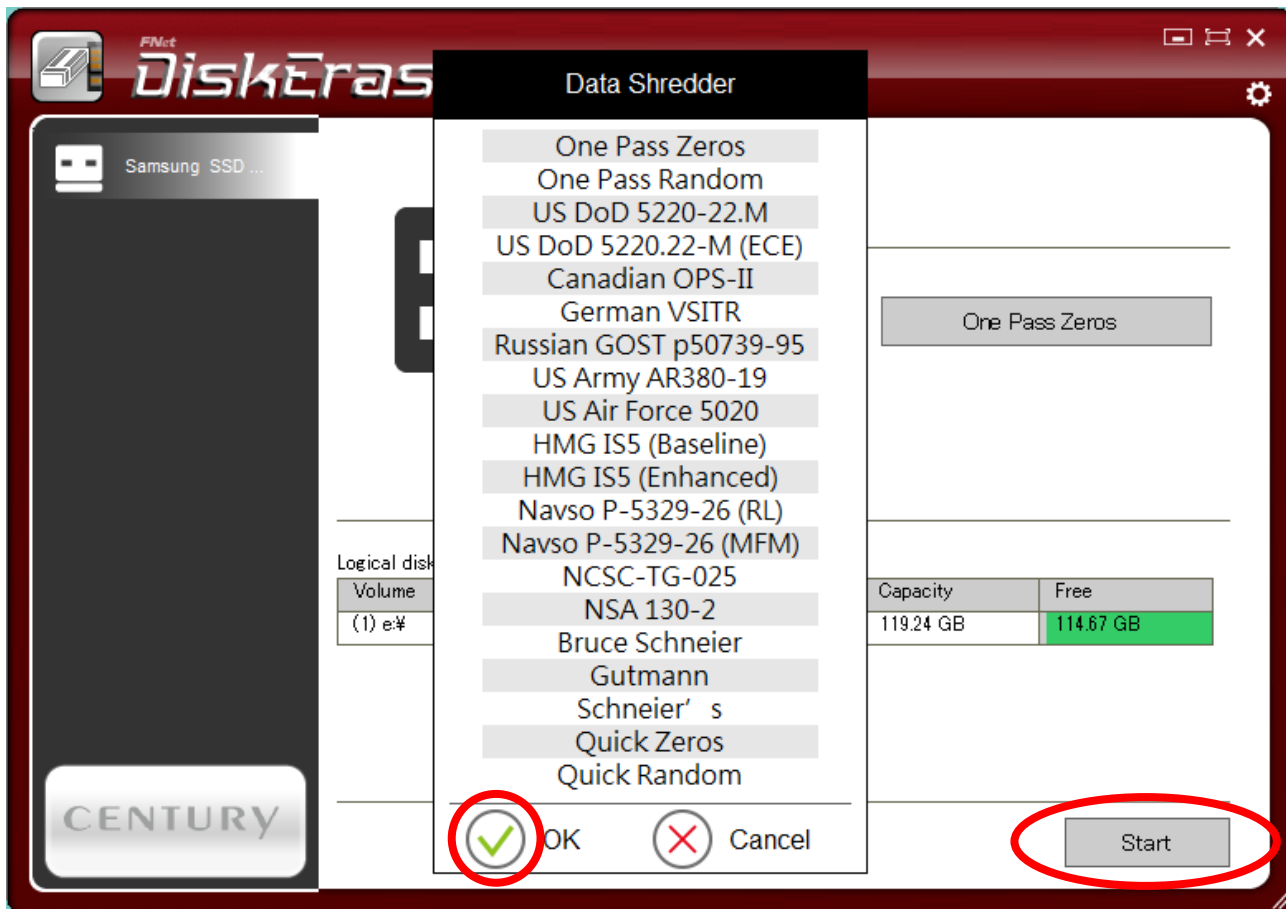
先頭セクタにランダム数値を書き込みます。ベリファイは行いません。



※先頭セクタ以外は消去を行わないためデータが残ります。

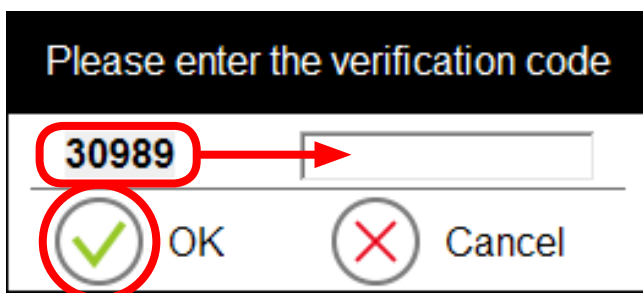
**～ベリファイとは～**

書き込まれたデータに誤りがないかをチェックする動作のことです。

- ④ 消去方法を選択したら、 OK をクリックします。



- ⑤  をクリックすると、次の画面が表示されるので、画面に表示された数字を入力し、 OK をクリックします。



## ⑥消去が開始されます。

進行状況は画面下のパーセント表示にて確認してください。

また、消去が完了した際、完了のメッセージ等は表示されません。

※各消去方法によって処理時間は大幅に変わります。

※中断処理は行えません。



## ⑦ソフトを終了する場合は、画面右上の **×** をクリックします。

